

## 第8回 旭川市民文化会館整備基本構想検討会 会議録（要旨）

会議名 第8回 旭川市民文化会館整備基本構想検討会

開催日 令和6年3月28日（月）  
午後1時30分から午後3時00分まで

開催場所 旭川市民文化会館 2階 第2会議室

出席者 参加者 全12名のうち10名出席  
(敬称略) 上田 信津子, 大口 優, 大谷 薫, 佐藤 淳一,  
鈴川 雄太, 松倉 敏郎, 水野 雅文, 南 裕一,  
宮田 健一, 森 傑  
事務局 4人出席  
社会教育部長, 文化ホール担当課長, 文化会館主査（2人）  
事務局支援 7名  
北海道大学大学院建築計画学研究室

会議の公開非公開の別 公開

傍聴者数 2名

会議資料 別紙のとおり

### 1 開会

### 2 議事

進行役：

- ・次第にあるとおり、今回の議事は以下の3つ。
  - (1) 旭川市民文化会館整備基本構想について
  - (2) 質疑応答・意見交換
  - (3) 令和6年度以降の検討について
- ・前回から期間が空いたため、復習を兼ねながら進めさせていただきたい。

## (1) 旭川市民文化会館整備基本構想について

事務局：

資料1, 資料3及び資料4に基づき説明。

- ・参加者の皆様には事前に確認いただいているが、第7回検討会終了後、以下の点を修正した。
- ・第3章の基本理念について、「シビックプライド」という単語が一般的でないとの指摘があったことから、「誇りと愛着」に置き換えた。また、メインフレーズとサブフレーズを明確に区分するため、サブフレーズを「～」で囲んだ。
- ・第4章の多機能化の検討について、「発信」の機能が他3つの機能を補強するイメージの図に修正した。
- ・第5章として、管理運営方法の基本的な考え方を記載した。
- ・第6章として、「今後のスケジュール」、「市民意見の取り入れ」、「基本計画の策定に向けて」を記載した。
- ・第2, 3, 4章の外来語についてページ下部に注釈を追加した。また、細かな表現やレイアウト等の調整を行った。
- ・概要版(資料4)を作成した。

事務局：

資料1, 2及び3に基づき説明。

- ・旭川市民文化会館整備基本構想(案)に係る意見提出手続(パブリックコメント)は、令和6年2月20日から3月20日までの1か月間で実施した。
- ・実施にあたり、多くの方に関心を持っていただけるよう、報道機関への報道依頼や旭川市公式SNSへの掲載を行った。あわせて、令和4年度中に旭川市民文化会館を利用した旭川市内の団体や個人など、約300の方々に対して、案内文を送付した。
- ・結果として、個人からの意見が12件、団体からの意見が7件、計19件の意見提出があった。意見の内容及び意見に対する旭川市教育委員会の考え方については、資料2に記載しており、後日、市HP等において公開する。
- ・全体として、基本構想に記載した「基本理念」や「基本的な施設機能」といった部分については概ね理解や賛意を示す意見が多かった。
- ・一方、具体的な施設機能や建設場所といった基本計画以降での検討事項に関する意見もあり、これらに対しては「今後の検討の参考とさせていただく」旨の回答とした。
- ・意見を反映して基本構想を修正したのは1か所であり、「展示室の搬出入時の使い勝手だけではなく、展示についても同様のことが言えるのではないか」という意見について、指摘のとおりであることから、基本構想39ページに「展示のしやすさをはじめ」という文言を追加した。

事務局：

資料1及び資料3に基づき説明。

- ・その他の追加事項として、資料編(基本構想51ページから77ページ)を追加した。

- ・先進事例（施設）の状況として、3施設（水戸市民会館、枚方市総合文化センター、由利本荘市文化交流会館カダレ）を取り上げ、各施設の特徴などを記載した。
- ・また、利用団体等アンケート調査として、新施設に求める施設機能などについて調査した結果について記載した。調査は令和4年度中に旭川市民文化会館又は旭川市公会堂を利用した団体・個人など423名を対象として行い、207名の方から回答を得た（回答率48.9%）。
- ・本検討会において挙げられた意見や考えから極端に乖離するような意見は少なく、概ねこれまでの議論に合致する意見が多く見られた。今後の検討に際しては、アンケートの結果を踏まえ、市民意見を取入れながら検討を進めることが必要になると認識している。

## （2）質疑応答・意見交換

進行役：

- ・基本構想の内容に関して、確認又は質問したい事項や、修正を希望する意見などはないか。

（参加者から確認・質問事項及び修正意見なし。）

進行役：

- ・今年度の検討会全体を振り返ると、質の高い議論をしていただいた結果、旭川らしさが出た良い基本構想になっていると感じる。
- ・パブリックコメントにおいても、基本構想の内容に批判的な意見は少なく、次の計画に期待する意見が多く、得られた回答からも市民の関心の高さが窺えた。これら生産的な意見を踏まえ、来年度以降の議論に繋げていきたい。
- ・参加者の皆様からも、全体を振り返って感想などあれば発言いただきたい。

参加者：

- ・基本構想の内容に対し、新文化会館に関心を持っている方の評判は非常に良く、個人としても検討会に参加して良かったと感じている。
- ・この1年間で文化芸術を中心に人々の繋がりを感じられ、嬉しいことが多くあった。新文化会館が完成した後も文化芸術を通じたつながりや感動を感じられる施設になると良い。

進行役：

- ・新施設では、素朴な出会いや偶発的なコミュニケーションを仕掛けていける環境づくりが出来るが良い。そのためにはハード面だけでなく、運営や情報発信等のソフト面についても旭川市にはチャレンジしてもらいたい。

参加者：

- ・基本構想の段階で多くの市民から意見が寄せられたことに驚いている。吟味すると参考になることもたくさんあるのではないかと思う。

- ・棟方志功氏のどん帳については否定的な意見もあったが、自分としては今後も利用してほしいと感じている。

進行役：

- ・多種多様な意見があり、中には対立する意見もあるため、全てを採用するということは現実的に難しい。ただ、こうして意見を収集・開示すること自体に意義があり、今後の議論を進める上でも有益であることから、旭川市には、市民が情報に触れる機会を今後も積極的に設けていただきたい。

参加者：

- ・今後、新施設で行われる活動が、地域を作ることや未来を創ることにつながる、素晴らしいものになってほしいと感じた。

進行役：

- ・参加者の皆様には、本検討会のような形で市が検討を行っていることについて、各自関わりのある市民の方々に対し、引き続き周知いただけるとありがたい。

参加者：

- ・この検討会を通して様々な立場や視点からの意見を聞くことができ、大変有意義な時間であったと感じている。また、パブリックコメントで多くの意見が寄せられたが、検討会での意見と大きく相違することなく、総じて反対意見も少なかったことに安堵している。
- ・今後、基本計画以降の検討を進めていく中で、自分としてはやはりホールの影響に注力いただきたい。影響が良いことは単に演者と市民が気持ち良いだけでなく、楽曲や演奏のアイデアをかき立て、知的・創造的な好奇心を促進することに寄与すると思う。
- ・あわせて楽屋の防音性、搬出入口の利便性、Wi-Fi 設備など細かな使い勝手が良い施設になれば、演者にも、市民にとっても素晴らしいホールになると考えている。

進行役：

- ・パブリックコメントで提出された意見の中には、検討組織にホールの専門家がないといった意見もあったが、専門家とはエンドユーザーからのインプットが先にあった上で、アウトプットを提供するものである。本検討会に参加いただいている皆様は、各分野における専門家であり、今いただいた意見のように、実際の利用者の意見は、基本計画以降の検討段階においても重要になると考えている。

参加者：

- ・今後、日本全体の人口が減少していく中で、主催者として文化ホールを利用する人が減少していくことは避けようがないと思う。そうした未来の課題に目を向けながら、今後の対応を考えていくことも必要と感じた。

進行役：

- ・日本人の人口は減少傾向にあるが、大学では留学生の割合が増えるなど、外国人人口の増加という要素は今後考えられる。旭川には空港もあるので、コンベンションや芸術文化活動など、利用分野を問わず、国際的な視野を持って施設を活用することができれば、人口減少に負けないうまちづくりにもチャレンジできるのではないかと思う。

参加者：

- ・基本計画の議論の際には、ホールの機能や諸室の数等、理想だけではなく予算や面積を考えながら進める必要がある。
- ・今後の旭川を象徴する建物になるため、建設後に後悔しないものを造ってほしいと思う。

進行役：

- ・御指摘のとおり、基本計画では予算の問題に直面する。また、学校などと違い、ホールには補助金が出づらいうことも影響してくることから、市ではその点も踏まえて検討願いたい。

参加者：

- ・主催者として旭川市民文化会館の大ホールを利用するが、その際に音響の問題について指摘されることが多くあり、本検討会ではそうした点を考慮いただきたく意見してきた。
- ・報道等を通して本検討会の存在を多くの市民が知っている。自分も参加者であることから話を聞かれる場面が何度かあり、市民の関心の高さを感じた。
- ・今後、予算面や法律面など、苦勞する場面があると予想されるが、旭川市には可能な限り優れたホールを造ってほしい。
- ・旭川市民文化会館だけでなく、周辺の関係施設とも連携して運営できるよう、ソフト面についても並行して検討を進めてほしい。

進行役：

- ・御指摘のとおり、ソフト面を無視しては決められないハード面の部分もあるので、基本計画の策定過程においても、ソフト面をどのように考えるか、検討を進めてほしい。

参加者：

- ・先進事例に取り上げられていた水戸市民会館を先日訪れたが、資料に記載されていたとおり「まちのシンボル」であり、素晴らしい施設であった。同施設のように、旭川らしく木材を使うなどして、全国各地から人を呼び込めるような施設になることを期待する。
- ・これから基本計画を定める際には予算が大きく関係してくるものと思うが、様々な整備手法を視野に入れながら、今後も様々な形で検討に参加していきたい。

進行役：

- ・財政的なハードルは高いと思うが、水戸市民会館のように市民に愛される施設を建てることのできるよう、知恵を絞り、工夫を重ねながら検討していけると良い。

参加者：

- ・各分野で活躍している、本検討会の皆様の意見が反映された施設として整備されれば、実際に施設が利用される中で、仮に何らかの不満が出たとしても、「なぜそのように整備されたのか」という意図が、きちんと市民に理解される施設になるのではないかと思う。
- ・これからも個人として、また仕事の上でも、関心を持っていきたい。

進行役：

- ・検討会の進行にあたり、皆様からは生産的かつ協力的な意見をいただき、感謝している。
- ・現時点の予定では、令和6年度と7年度で基本計画を策定する計画ということで、今後、諸室の大きさや大ホールの座席数など、敷地等を決めるため建築専門分野に関する議論が多くなると思うが、引き続き関心を持っていただきたい。
- ・一般的な施設は建物の設計が先行し、建設が始まる段階になって運営事業者が決定するため、運営事業者が設計に意見することはできない。管理運営事業者を設計の早い段階で、あるいは設計に先行して決定することができれば、管理運営上の様々な課題をあらかじめ想定・検討する機会ができると思う。
- ・現実的には非常に難しく、全国的にもそうした取組を行っている事例はほとんどないと思うが、個人的な希望としては、ソフト先行の施設づくりに挑戦してほしい。

### (3) 令和6年度以降の検討について

事務局：

- ・令和6年度以降の議論については、2か年かけて基本計画の策定を進める予定であり、施設の具体的な機能や立地などについて検討していく。
- ・施設の立地に関しては、基本計画における検討事項とも関係するため、早急に検討する必要がある。
- ・今年度と同様に検討会を開催し、意見をいただきながら基本計画の検討を推進していくことを想定している。

## 3 閉会